

令和2年度(2020年度)

統一的な基準による宝塚市連結財務書類

令和4年(2022年)3月

企画経営部 行財政改革室 財政課

# 目次

・ 連結貸借対照表	P 1
・ 連結行政コスト計算書	P 2
・ 連結純資産変動計算書	P 3
・ 注記事項	P 4～8
・ 連結附属明細書	P 9

## 連結貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

宝塚市

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
固定資産	404,218	固定負債	144,924
有形固定資産	376,834	地方債等	103,263
事業用資産	204,635	長期未払金	1,505
土地	155,167	退職手当引当金	13,554
立木竹	-	損失補償等引当金	105
建物	135,076	その他	26,496
建物減価償却累計額	△88,914	流動負債	19,180
工作物	7,842	1年内償還予定地方債等	14,092
工作物減価償却累計額	△5,250	未払金	2,598
船舶	-	未払費用	29
船舶減価償却累計額	-	前受金	144
浮標等	-	前受収益	40
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	1,767
航空機	-	預り金	367
航空機減価償却累計額	-	その他	143
その他	1		
その他減価償却累計額	△1	負債合計	164,104
建設仮勘定	714	<b>【純資産の部】</b>	
インフラ資産	166,584	固定資産等形成分	410,998
土地	79,076	余剰分(不足分)	△148,164
建物	3,441	他団体出資等分	48
建物減価償却累計額	△2,418		
工作物	229,890		
工作物減価償却累計額	△143,769		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	365		
物品	24,412		
物品減価償却累計額	△18,798		
無形固定資産	8,004		
ソフトウェア	407		
その他	7,597		
投資その他の資産	19,380		
投資及び出資金	770		
有価証券	583		
出資金	187		
その他	-		
長期延滞債権	2,776		
長期貸付金	108		
基金	15,481		
減債基金	246		
その他	15,235		
その他	404		
徴収不能引当金	△160		
流動資産	22,768		
現金預金	12,038		
未収金	3,298		
短期貸付金	22		
基金	6,758		
財政調整基金	6,758		
減債基金	-		
棚卸資産	278		
その他	419		
徴収不能引当金	△45		
繰延資産	-		
資産合計	426,986	純資産合計	262,882
		負債及び純資産合計	426,986

## 連結行政コスト計算書

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

宝塚市

(単位:百万円)

科目	金額
経常費用	182,955
業務費用	58,616
人件費	24,952
職員給与費	20,498
賞与等引当金繰入額	1,743
退職手当引当金繰入額	2
その他	2,708
物件費等	29,919
物件費	20,435
維持補修費	1,031
減価償却費	8,130
その他	323
その他の業務費用	3,745
支払利息	1,129
徴収不能引当金繰入額	158
その他	2,457
移転費用	124,339
補助金等	102,724
社会保障給付	21,589
その他	26
経常収益	21,510
使用料及び手数料	17,173
その他	4,336
純経常行政コスト	161,445
臨時損失	420
災害復旧事業費	-
資産除売却損	183
損失補償等引当金繰入額	-
その他	237
臨時利益	23
資産売却益	9
その他	15
純行政コスト	161,842

## 連結純資産変動計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

宝塚市

(単位:百万円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	258,823	413,041	△154,266	48
純行政コスト(△)	△161,842		△161,842	0
財源	165,332		165,332	0
税収等	80,546		80,546	0
国県等補助金	84,787		84,787	-
本年度差額	3,490		3,490	0
固定資産等の変動(内部変動)				
有形固定資産等の増加				
有形固定資産等の減少				
貸付金・基金等の増加				
貸付金・基金等の減少				
資産評価差額	△1			
無償所管換等	563			
他団体出資等分の増加	-			-
他団体出資等分の減少	-			-
比例連結割合変更に伴う差額	6			
その他	1			
本年度純資産変動額	4,059	△2,043	6,102	0
本年度末純資産残高	262,882	410,998	△148,164	48

## 【注記事項】

### 1 重要な会計方針

#### (1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

##### ① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

##### ア 昭和59年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

##### イ 昭和60年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

##### ② 無形固定資産……………取得原価

なお、一部の連結対象団体（地方三公社、公益財団法人、一般財団法人、社会福祉法人、株式会社）においては、原則、取得原価としています。

#### (2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

##### ① 満期保有目的の有価証券……………償却原価法（定額法）

##### ② 満期保有目的以外の有価証券

市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

（売却原価は移動平均法により算定）

##### ③ 出資金

市場価格のないもの……………出資金額

#### (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

##### ① 貯蔵品……………先入先出法による低価法

##### ② 販売用土地……………地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行規則 第4条第2項各号に掲げる方法

#### (4) 有形固定資産等の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 5年～50年

工作物 5年～75年

物品 2年～20年

##### ② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

（ソフトウェアについては、当市における見込利用期間（5年）に基づく定額法によっていま

す。)

③ リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

未収金については、過去5年間の平均不納欠損率等又は、個別に回収可能性を検討し、徴収不能見込額を計上しています。

長期延滞債権については、過去5年間の平均不納欠損率等又は、個別に回収可能性を検討し、徴収不能見込額を計上しています。

長期貸付金については、過去5年間の平均不納欠損率又は、個別に回収可能性を検討し、徴収不能見込額を計上しています。

ただし、一部の連結対象団体においては、法人税法に規定する法定繰入率に基づく繰入限度額によっています。

② 退職手当引当金

期末自己都合要支給額を計上しています。

ただし、一部の連結対象団体においては、主として期末における退職給付債務及び年金資産の見込み額に基づき計上しています。

③ 損失補償等引当金

履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上しています。

④ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

ただし、一部の連結対象団体（会計）については、税抜方式によっています。

2 偶発債務

(1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況

他の団体の金融機関等からの借入債務に対し、保証を行っています。

(単位：百万円)

団体名	確定債務額	履行すべき額が確定していない 損失補償債務等		総額
		損失補償等 引当金計上額	貸借対照表 未計上額	
社会福祉法人阪神福祉事業団	—	105	—	105
計	—	105	—	105

(2) 係争中の訴訟等

係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けている主なものは次のとおりです。

- ① 大阪高等裁判所令和2年（行サ）第63号  
行政上告提起事件  
大阪高等裁判所令和2年（行ノ）第71号  
行政上告受理申立て事件 7百万円
- ② 伊丹簡易裁判所令和2年（ノ）第27号  
損害賠償請求事件 7百万円
- ③ 神戸地方裁判所令和元年（ワ）第1882号  
損害賠償請求事件 68百万円

### 3 追加情報

#### (1) 連結対象団体（会計）

団体（会計）名	区分	連結の方法	比例連結割合
病院事業会計	地方公営事業会計 （地方公営企業会計）	全部連結	—
水道事業会計	地方公営事業会計 （地方公営企業会計）	全部連結	—
下水道事業会計	地方公営事業会計 （地方公営企業会計）	全部連結	—
特別会計国民健康保険事業費	地方公営事業会計 （その他）	全部連結	—
特別会計国民健康保険診療施設費	地方公営事業会計 （その他）	全部連結	—
特別会計介護保険事業費	地方公営事業会計 （その他）	全部連結	—
特別会計後期高齢者医療事業費	地方公営事業会計 （その他）	全部連結	—
宝塚市土地開発公社	地方三公社	全部連結	—
公益財団法人宝塚市スポーツ振興公社	第三セクター等	全部連結	—
公益財団法人宝塚市文化財団	第三セクター等	全部連結	—
一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社	第三セクター等	全部連結	—
公益財団法人阪神北広域救急医療財団	第三セクター等	比例連結	32.72 %
社会福祉法人宝塚すみれ福祉会	第三セクター等	比例連結	50.00 %
宝塚都市環境サービス株式会社	第三セクター等	全部連結	—
株式会社エフエム宝塚	第三セクター等	比例連結	50.00 %
宝塚山本ガーデン・クリエイティブ株式会社	第三セクター等	全部連結	—
ソリオ宝塚都市開発株式会社	第三セクター等	比例連結	49.42 %
丹波少年自然の家事務組合	一部事務組合・広域連 合	比例連結	11.47 %
兵庫県後期高齢者医療広域連合	一部事務組合・広域連 合	比例連結	4.66 %
阪神水道企業団	一部事務組合・広域連 合	比例連結	2.43 %
兵庫県市町村職員退職手当組合	一部事務組合・広域連 合	—	—

連結の方法は次のとおりです。

- ① 地方公営事業会計は、全て全部連結の対象としています。
- ② 地方三公社は、全て全部連結の対象としています。
- ③ 一部事務組合・広域連合は、各構成団体の経費負担割合等に基づき比例連結の対象としています。なお、兵庫県市町村職員退職手当組合については、当市の持分相当の退職手当に係る基金及び退職手当支給準備金を連結貸借対照表に計上して、連結したものとみなしています。
- ④ 第三セクター等は、出資割合等が50%を超える団体（出資割合等が50%以下であっても業務運営に実質的に主導的な立場を確保している団体を含みます。）は、全部連結の対象としています。また、いずれの地方公共団体にとっても全部連結の対象とならない第三セクター等については、出資割合等や活動実績等に応じて、比例連結の対象としています。ただし、出資割合が25%未満であって、損失補償を付している等の重要性がない場合は、比例連結の対象としていない場合があります。

## （2）出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない団体（会計）と出納整理期間を設けている団体（会計）との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものと調整しています。

## （3）表示単位未満の取扱い

百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

## （4）売却可能資産の範囲及び内訳は、次のとおりです。

### ア 範囲

売払収入が予算措置されている、もしくは売却することが市の方針として決定している資産  
連結対象団体においては、翌年度以降の売却が予算化されている資産

### イ 内訳

該当なし

【様式第5号】

## 連結附属明細書

### 1. 連結貸借対照表の内容に関する明細

#### (1) 資産項目の明細

##### ① 有形固定資産の明細

(単位:百万円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A) + (B) - (C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	本年度末 減損損失累計額 (G)	本年度減損額 (H)	差引本年度末残高 (D) - (E) - (G) (I)
事業用資産	298,324	5,361	4,884	298,800	94,166	3,002	-	-	204,635
土地	153,165	2,019	17	155,167	-	-	-	-	155,167
立木竹	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建物	133,593	2,328	845	135,076	88,914	2,827	-	-	46,162
工作物	7,396	451	5	7,842	5,250	175	-	-	2,592
船舶	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	1	1	0	-	-	0
建設仮勘定	4,170	562	4,018	714	-	-	-	-	714
インフラ資産	309,459	5,955	2,642	312,772	146,188	3,699	-	-	166,584
土地	78,543	683	149	79,076	-	-	-	-	79,076
建物	3,441	0	1	3,441	2,418	86	-	-	1,022
工作物	226,626	3,354	91	229,890	143,769	3,613	-	-	86,120
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	849	1,917	2,402	365	-	-	-	-	365
物品	24,064	1,269	921	24,412	18,798	883	-	-	5,614
合計	631,848	12,584	8,447	635,985	259,151	7,583	-	-	376,834